

<乳がん地域連携パス 改訂版の変更点について>

1) 【5-1 説明文（医療者用）】の変更点

- ◆ 拠点病院での定期受診の用途を術後「5年目」から「10年目」に修正
- ◆ 「患者情報」を差し替え
 - ▶ 術後病理結果など治療方針決定に必要な項目を修正
 - ▶ 薬剤処方ではジェネリック薬品が増えているので、商品名から一般名に変更
 - ▶ 術後補助療法として新たに適応追加となった薬剤を追記

2) 【5-2 計画書（医療者用）】の変更点

- ◆ 「診察」項目の必要性を修正（「●必ず実施」に統一）
- ◆ 「処方」の薬剤名を一般名に変更
- ◆ 1～5年目の「その他」と枠外の注釈から「ハーセプチン」を削除

3) 【5-4 連携ノート（患者用）】の変更点

- ◆ 3ページ「手術について」を、上記1)の「患者情報」の変更に応じて修正
- ◆ 5～15ページ「乳がん治療に関する連携計画書」を、上記2)の変更に応じて修正

4) 歯科医との連携

- ◆ 【連携ノート（患者用）】、【説明文（医療者用）】、【説明同意書（患者用）】中の「決定した連携医療機関の一覧」に「かかりつけ歯科医」「歯科医院」の項目を追加

5) 補足

- ◆ 各ひな型中の「平成」を「令和」に変更

以上

R5.3.23 改訂